

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>(1) 単位制の利点をいかした年次進行制の教育課程に基づき、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育活動を展開する。</p> <p>(2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力の育成を図る。</p> <p>(3) 学習意欲を高め、自ら考え、表現する力を育む。</p>	<p>(1) 新しい教育課程の理念を踏まえ、授業の量的確保を前提とした「単位制の利点」との整合を図る教科指導體制を模索する。</p> <p>(2) 指定事業である「確かな学力育成推進」の最終年の取組みとして、「わかる授業」を徹底して追及すると共に、「何ができるようにするか」を明確に示した教科指導を展開するなど、授業の質的な充実に努める。</p> <p>(3) 生徒の学習意欲の高まりに応えられる学習・進路指導の仕組みづくりを推進する。</p>	<p>(1) 新しい教育課程を更に精査し、授業の量的確保と質的な充実を図る。</p> <p>(2) 「何ができるようにしてほしいのか」について教科で共通認識をもって目的的に授業を展開し、「湘風力発電(基礎学力育成シート)」等を効果的に使用することで基礎基本の定着を図る。また授業改善研修会などを通して、授業の質的な充実に努める。</p> <p>(3) 外部の資格試験や「基礎力診断テスト」等を活用して生徒の学習意欲を刺激し、年次やグループ、湘風改革推進プロジェクトチームが協調して進路実現を目指す生徒を支援する。</p>	<p>(1) 新しい教育課程の理念に基づく教育活動を展開し、目標とする人材育成ができたか。 (職員アンケート、生徒による授業評価、基礎力診断テストの結果、進路状況)</p> <p>(2) 各教科での取組みの結果、生徒の学習状況が改善されたか。 (生徒による授業評価、生徒の状況観察、基礎力診断テストの結果)</p> <p>(3) 生徒の学習意欲の高まりに応えられる仕組みづくりができたか。 (基礎力診断テストの結果、各種資格試験の結果、進路状況)</p>					
2 生徒指導・支援	<p>(1) 生徒の規範意識を育成し、社会や集団の一員であるという自覚を持たせる。</p> <p>(2) 学校生活への積極的な参加を通し、豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>(3) 教育相談・支援体制の整備に努め、生徒一人ひとりの豊かな学校生活を支援する。</p>	<p>(1) 期待される行動やマナーを果たそうとする感性を醸成するとともに、他者を思いやり、違いを認め合える心や態度を育む。</p> <p>(2) 理念と目的をさらに明確にした学校行事や様々な活動とおして、集団への帰属意識や他者と協力して成果を上げようと努力する意識を涵養する。</p> <p>(3) 教育相談等をおして一人ひとりに行き届く支援に努める。</p>	<p>(1) 全職員が「授業規律」を徹底し、生徒に規範意識や道徳観を育ませるとともに、各種行事を通じて、他者を思いやり協力し合う心を育てる。</p> <p>(2) 各種行事の目的や意義を理解させ、部活動や委員会活動の活発化を図る中で、チームワークを尊重し責任感を持って、自ら計画的に取り組めるよう指導や支援を行う。</p> <p>(3) 教育相談やアンケートを通して個々の生徒の状況を把握し、いじめ等のない、安全・安心な学校環境づくりを進める。</p>	<p>(1) 生徒が規範意識を持ち他者の考えや行動を尊重できるような行動が取れたか。 (生徒の状況観察、指導件数の推移、いじめアンケートや行事アンケートの結果)</p> <p>(2) 各種行事がスムーズに運営され、生徒が満足感を得られたか。また、部活動や委員会活動の活発化が図れたか。(行事アンケートの結果、部・委員会の活動状況)</p> <p>(3) 個々の生徒の状況把握、課題を認識した適切な指導、支援が行えたか。 (生徒の状況観察、教育相談の状況、いじめ・学校生活アンケート)</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	(1) 生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、多様な進路希望の実現を支援する。 (2) 生徒が自ら将来像を描き、主体的に生涯を生きる姿勢を育てる。	(1) 自分の可能性を信じて目標に向き合う「挑戦力」を育成するとともに、それを支える教員の進路指導力の向上を図る。 (2)-①新しい高大接続への対応や変化する社会で生き抜ける人材の育成に向けた研究を進めるとともに、進路指導への反映に努める。 (2)-②生徒の学習意欲の高まりに応えられる学習・進路指導の仕組みづくりを推進する。(再掲)	(1) 「基礎力診断テスト」等の外部基準を活用し、生徒が将来を前向きに捉えて進路目標を考えられるよう組織的な進路指導に努める。研修会を通じ、教員の進路指導力向上を図る。 (2)-①高大接続改革の動向を研究し、2020年度入試に備えた準備を進める。 (2)-②学習意欲の高い生徒に希望者講習や校外模試等への参加を促すことで挑戦を支援する。	(1) 生徒の進路指導、支援が適切に行われ、目標実現がなされたか。職員に適切な研修が行えたか。(生徒の進路状況、研修の実施状況) (2) 入試改革に関する情報収集に努め、適切な指導、支援が行えたか。(湘風改革推進プロジェクトとの連携、生徒の取組み状況、振り返りなど)					
4	地域等との協働	(1) 家庭や地域との連携により、パートナーとして愛され、支持を得られる学校づくりを推進する。 (2) 小中学校との連携と協力により、教育課題の解決に向けた取組みを推進する。	(1) 生徒が社会の一員として生活することの意義を学ぶ機会として、地域の防災訓練等の活動や様々な行事に積極的に参加する姿勢を養う。 (2) 学校運営協議会の設置により、「地域とともにある学校づくり」を推進する中で、特色ある教育活動の展開や地域での教育課題の共有により、“湘風らしいコミュニティースクール”を模索する。	(1) 生徒が積極的に地域の行事に参加する環境づくりに努め、社会に貢献することへの意義ややり甲斐を認識させる。 (2) ツイッターやWebページで積極的に地域に学校の教育活動を発信していくとともに、これまでの取組みを生かした学校運営協議会を始動し、地域と連携して教育課題の解決に取り組む。	(1) 生徒が地域の行事に参加し、地域の方々と活動し、課題を共有することができたか。(地域行事への参加状況など) (2) 学校運営協議会での協議や、各交流事業、特色ある教育活動を通じ、地域とともにある学校づくりができたか。(評価部会による評価)					
5	学校管理 学校運営	(1) 生徒が安心して学校生活を送ることができる、安全な学校づくりに取り組む。 (2) 一層の組織的な学校運営と業務の効率化を図る。	(1)-①効果的な校内研修会の実施等により、教職員一人ひとりが人権意識をさらに高めるなどして、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を提供する。 (1)-②生徒と教職員がともに自らの生命を守ろうとする防災意識の向上を図る。 (2)-①誠実に職務に向き合うことにより、生徒・保護者・県民から全幅の信頼を得られる学校づくりに取り組む。 (2)-②開校10周年を節目として、本校の次の10年を見据えた将来像を模索する。	(1)-①人権研修会を始めとする校内研修会を充実させ、教職員のさらなる意識向上を図り、本校の教育理念に基づいた教育活動を行う。 (1)-②防災意識の向上のため、DIGを活用した防災訓練を引き続き実施する。 (2)-①事故防止会議の内容をより充実させ、職員の意識の啓発に努める。 (2)-②10周年記念行事の企画・運営をとおり、これまでの経過を踏まえた本校の将来像を職員で共有する。	(1) - ①生徒の課題に即した研修会を行い、規律とマナーに守られた教育環境を提供することができたか。(研修会の実施状況、生徒による授業評価、いじめ・学校生活アンケート) (1)-②DIGを活用した効果的な防災訓練が実施できたか。(防災訓練の実施状況) (2)-①職員の心に響く事故防止会議ができたか。 (2)-②本校らしい10周年記念行事が実施できたか。					